



太平山と雄物川に象徴される恵まれた自然環境にある秋田市

人にも、地球にも、やさしいまちへ 環境基本条例の 制定をめざします

**より良い環境を
創出するために**
市では、今年五月、学識経験者など十八人からなる秋田市環境懇談会会長・菅原拓男秋田大学教授を設置しました。この懇談会は、良好な環境を保ち、それを将来に引き継いでいくために、市の環境施策についての調査や議論を目的に設けられたものです。数回にわたる審議などを経て、「秋田市の環境施策の基本的なあり方に関する提言書」がまとめられ、このほど石川市長に提出されました。



石川市長に提言書を手渡す菅原会長(右)

この提言書では、より良い環境を創出していくため、市が行うべき取り組みが二十項目にわたって示されているほか、市や事業者、市民のそれぞれが果たすべき役割についても述べられています。

**環境基本条例の
制定スケジュール**
市では、この提言をふまえ、来年の二月に開かれる市議会に、人にも地球にも優しいまちづくりの道しるべとなる「(仮称)秋田市環境基本条例」を提案するための準備を進めています。また、条例制定後には、「環境基本計画」も策定し、各種の環境施策を総合的・計画的に進めることにより、市民のみならずの協力のもと、恵み豊かな環境の確保に努めていきます。

さらに、秋田市を「人にも地球にも優しい都市」にしていくために、すべての市民と事業者

「秋田市の環境を良くするにはどうしたらいいの？」この問題について、有識者や市民の立場からの、意見をうかがうために開かれていた秋田市環境懇談会。このほど市への提言がまとめられ、市長に提出されました。恵み豊かな環境を守り引き継ぐための取り組みを求めたこの提言にもとづき、市では環境施策の道しるべとなる環境基本条例の制定に向けて準備を進めています。

問い合わせ 環境保全課 ☎(866)2075

提言書で示された考え方や目標

人にも地球にも優しい都市へ

- ・恵み豊かな環境を確保し、将来の世代に引き継ぐ
- ・自然と人が共生していく
- ・環境への負荷の少ない、持続的な発展が可能な社会を構築する
- ・すべての者が公平な役割分担のもとに主体的に取り組む
- ・地球環境の保全に役立つよう行動する

三者が一体となった取り組み

市の役割	市民の役割	事業者の役割
環境についての総合的な施策を策定し、実行する	日常生活で、環境への負荷を少なくすることなど	・公害の防止 ・事業活動で、環境への負荷を少なくすることなど

ごみ減量と資源再利用の体験談

入賞者が決まりました

ごみの減量と資源の再利用の意識を高めてもらおうと、小学生と一般市民を対象に募集した、ごみの減量と資源の再利用に関する体験談。このほど入賞者が決まり、11月26日に表彰式が行われました。

問い合わせ 再資源課 ☎(863)6632

小学生の部

- 特選 諸橋香緒里さん(広面小5年)「エコバッグ製作」
- 入選 尾張純一くん(築山小5年)「生ごみ堆肥の利用」
- 入選 細川恵美さん、菅原友里恵さん、三浦和佳奈さん、千葉恵梨沙さん(金足西小5年)「ゴミダイエット新聞製作」

一般の部

- 特選 山本聖子さん(御野場五丁目)「生活のごみを減らす工夫」
- 入選 能登谷貴美子さん(泉東町)「再生紙のはがき製作」
- 入選 中田元さん(手形からみでん)「生ごみ堆肥の利用と不要紙の活用」



小学生の部特選
もろはしかおり
諸橋香緒里さん

傘の布地も買い物袋に

買い物袋の持参運動を進めるために、使いやすいエコバッグづくりに挑戦しました。学校のクラスでスーパーなどに調査に行ったり、お母さんの希望を聞いて工夫しました。材料には使わなくなった傘の布地も使い、クラスみんなで考えたマスコットをアップリケしました。



一般の部特選
やまもとせいこ
山本聖子さん

ごみを減らす工夫が25も

子供たちに公害や汚染のない自然環境を守り残すため、生活のなかでごみを減らし、資源を大切に使う工夫をしています。どんな小さなものも再利用したり、衣類や靴、家具、電気製品などは手入れをしながら大切に使うなど、書き連ねてみたら25項目にもなりました。

